

- 問1 明治政府が列強との不平等条約を解消するために行った交渉を何という？
- 問2 日本の紡績業において、海外から輸入して加工の原料とした農産物を何という？
- 問3 明治政府が欧米諸国の産業を取り入れ、国力を高めるために進めた政策を何という？
- 問4 幕末に結ばれた不平等条約において、日本が外国人に与えていた、自国内で日本の法律を受けず外国の領事によって裁判を受けられる権利を何という？
- 問5 明治政府が欧米諸国との不平等条約において、日本が主権を侵害されていると感じていた司法上の権利を何という？
- 問6 1874年に民撰議院設立の建白書を提出し、運動のきっかけを作った中心的な人物は誰ですか？
- 問7 立憲改進黨が理想とした、国会が予算や法律の議決権を持ち、内閣が議会に対して責任を負う制度を何という？
- 問8 明治政府が掲げた、国家の軍事力を強め経済を発展させるためのスローガンを何という？
- 問9 自由民権運動の中で、国民の意見を政治に反映させるために開設が求められた機関を何という？
- 問10 国会開設などを経て発展した、議会を通じて国政を行う政治形態を何という？
- 問11 岩倉使節団に最年少の女子留学生として同行し、帰国後に女子英学塾を創設して女子高等教育の発展に尽力した人物を何という？
- 問12 工業化の進展によって都市への人口集中が進んだ際、都市の環境を整えるために整備された、衛生的な生活を支えるための設備を何という？
- 問13 1889年に制定され、衆議院議員の選出方法を定めた最初の法律を何という？
- 問14 大日本帝国憲法において、統治権の総攬者として主権を持っていたのは誰？
- 問15 明治時代、足尾銅山から流れ出た鉱毒が原因で発生し、田中正造らが国に解決を訴えた日本初の本格的な環境問題を何という？
- 問16 納税額などによって選挙権を制限し、国民のわずかな層にしか投票を認めなかった制度を何という？
- 問17 1905年に日露戦争の講和のために結ばれた条約を何という？
- 問18 明治政府が近代化の一環として掲げた、官営工場の建設や産業の育成を行う政策を何という？
- 問19 岩倉使節団が欧米へ派遣された主な目的の一つである、幕末に結ばれた条約の改正を目指す相手先は何という？
- 問20 与謝野晶子が詩を発表し、明治時代の文学運動の拠点となった文芸雑誌を何という？
- 問21 自由党を創設し、自由民権運動のリーダーとして活躍した人物は誰ですか？

答え合わせ・解説

問1	答え 改正	明治政府は国力を高めるため、欧米諸国と粘り強い交渉を続けました。井上馨らによる欧化政策や、後の陸奥宗光、小村寿太郎らの外交努力によって、一つずつ権利を回復させていく過程が改正交渉です。
問2	答え 綿花	日本の紡績工場では、インドやアメリカなどから安価で品質の良い綿花を大量に輸入しました。その原料を使って高性能な機械で綿糸を製造し、それを中国などのアジア諸国へ輸出する貿易体制を確立しました。このプロセスは、日本が輸入加工型の工業国へと転換したことを意味します。
問3	答え 殖産興業	明治政府は、官営模範工場を設立して機械による工業化をすすめ、鉱山や鉄道などの近代化を図りました。また、民間の企業を支援し、産業の育成に力を入れました。
問4	答え 領事裁判権	領事裁判権（治外法権）は、外国人が日本で罪を犯しても、日本の裁判所では裁けないという権利です。これは日本の司法主権を侵害するものでした。
問5	答え 領事裁判権	この権利により、外国人は日本の法廷に立つ必要がなく、日本側は司法の主権を制限される形となりました。日本政府にとって、この権限の撤廃は独立国としての威信をかけた大目標でした。
問6	答え 板垣退助	1874年、板垣らは「民撰議院設立の建白書」を提出し、政府の独裁的な姿勢を指摘して国会の開設を求めました。この動きが「自由民権運動」として全国へ広がり、政治意識の高い人々を巻き込む大きな潮流となりました。
問7	答え 議院内閣制	立憲改進黨は、イギリス流の議院内閣制を理想として掲げました。これは、議会が内閣を監視・統制し、内閣がその議会に対して政治的な責任を負うという仕組みです。立憲改進黨はこの制度の導入を通じて、政府の専制を抑えようとしてきました。
問8	答え 富国強兵	富国強兵とは、産業を振興して国を豊かにし（富国）、軍備を拡張して国を守る力をつける（強兵）という政策目標です。これに基づき、地租改正による財政基盤の確保や、徴兵令による軍隊の編成が進められました。
問9	答え 国会	自由民権運動において、板垣退助らは政治に民意を反映させるために、国民が選んだ議員による議会である「国会」の開設を強く求めました。国民には政治に参加する権利があるという考え方が社会に広まりました。
問10	答え 議院政治	大日本帝国憲法の制定により帝国議会が開設されると、政党が組織され、選挙を通じて国民の代表が国政に参加する道が開かれました。当初は藩閥政府と対立しましたが、次第に政党が内閣を組む政党内閣の実現を目指すようになり、日本の近代化を支えました。
問11	答え 津田梅子	津田梅子は7歳で渡米し、約10年間アメリカで学びました。帰国後、女性には高等教育の機会が少なかった当時の日本において、自立した女性を育てるために女子英学塾（現在の津田塾大学）を創設しました。
問12	答え 上下水道	人々の健康を守り、伝染病を防ぐために、清潔な水を供給する上水道と、汚れた水を処理する下水道の整備が進められました。これにより都市の環境が改善され、近代都市としての社会基盤が整えられました。
問13	答え 衆議院議員選挙法	この法律では、満25歳以上の男子で、直接国税を15円以上納める者にのみ選挙権が与えられました。当時の有権者は人口の1%程度に限られていました。
問14	答え 天皇	大日本帝国憲法では、天皇が国家の元首であり、統治権のすべてを握る「統治権の総攬者」とされました。軍の統帥権や議会の開閉権なども天皇の権限とされ、国民（臣民）の権利は法律の範囲内でのみ認められる形をとっていました。
問15	答え 公害事件	栃木県の足尾銅山から流出した鉱毒により、渡良瀬川周辺の田畑が汚染され、住民が苦しみました。田中正造は、国会で何度もこの問題を追及し、被害者と連携して国に解決を求めました。これは日本初の本格的な環境被害として記録されています。
問16	答え 制限選挙	制限選挙とは、性別、財産、納税額などの条件を設けて有権者を限定する方式です。明治時代の初期には、多額の税を納める男子のみが選挙権を持つ仕組みであり、限られた資産家や地主による政治運営が行われていました。
問17	答え ポーツマス条約	1905年、アメリカのポーツマスで結ばれたポーツマス条約により、日露戦争は終結しました。この条約の結果、日本は朝鮮における優越権を認められ、南満州鉄道の経営権などを獲得しましたが、賠償金が得られなかったため、国民から不満の声が上がりました。
問18	答え 殖産興業	殖産興業政策として、富岡製糸場などの官営工場を建設しました。また、鉄道の敷設や郵便制度の整備、電信の普及など、産業の発展を支えるインフラも一気に整えられました。
問19	答え 不平等条約	岩倉使節団は、岩倉具視を特命全権大使として欧米各国に派遣され、近代的な制度を調査するとともに、最大の目標として不平等条約の改正交渉を行いました。しかし、相手国から法制度の未整備を理由に断られ、改正はすぐには実現しませんでした。
問20	答え 明星	『明星』は1900年に創刊された短歌を中心とした文芸雑誌です。情熱的で甘美な表現を特徴とする「明星派」を生み出し、与謝野晶子や鉄幹らが活躍しました。当時の保守的な社会や旧来の文学に対する新しい感性を提示しました。
問21	答え 板垣退助	板垣退助は日本初の政党である自由党を結成し、その党首となりました。自由党は、フランス流の民主主義的な考え方を支持し、国民の自由と権利を重視する立場をとりました。